



❁ 四国学院同窓会会長が代わります。



退任にあたって

前会長 林 邦彦 (1968年度 英文学科卒業)

皆様、日頃は同窓会活動にあたたかいご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。私ごとですが、この2月末日の役員総会におきまして同窓会会長を退任させていただきました。

顧みますと、8年の長きにわたり会長職を全うできましたことは、会員皆様方のひとかたならぬお力添えの賜と深く感謝する次第です。

この8年間は、同窓会の組織強化のために各地域での支部設置に向けて、皆様といっしょに頑張ってきました。お陰をもちまして、香川県支部をはじめとし全国で9支部を設置することができ、会員の80%以上の方がいずれかの支部に所属するまでに至りました。

平成17年度の総会で、同窓会会則を変更して、各支部から選出される代表幹事による役員総会を年1回開催することに決定しました。このことによって各会支部の意見をより多く取入れられ、支部を中心とした本来の同窓会活動の方向性がみえてきたと思います。

長い間、会員の皆様には大変お世話になりました。これからは岩崎啓一新会長のもと、さらに強力な体制を組み、同窓会活動がより大きな輪となり広がっていくこと、そして皆様のご健祥をご祈念申し上げご挨拶いたします。



同窓会会長就任にあたって

新会長 岩崎 啓一 (1973年度 人文学科卒業)

四国学院同窓会会員の皆様、卒業後各分野でのご活躍、心よりお喜び申し上げます。

同窓会は、19,000名を超える大きな組織になってきました。昨年の岡山県支部結成を含め、全国9支部となり、会員皆様のご参加を得て、より発展・充実を図っていきたく考えています。

私は、2008年2月の同窓会役員総会において、林邦彦前会長の後任として、会長に就任いたしました。微力ではございますが、全力を尽くす覚悟ですので、よろしくお願い申し上げます。

母校は、来年2009年をもって創立60周年を迎えることとなります。

2006年、新図書館・アクションプラザ棟・ノス館の完成により、キャンパス風景も一変いたしました。一方、大学をめぐる情勢は、より厳しさを増しています。大学数は年々増えており、2007年度は、私立大学の40%、私立短大の62%が定員割れの状況であり、四国学院も例外ではありません。

このような状況の中で、母校がいつまでも価値ある大学として発展し続ける為に、我が同窓会の果たすべき役割は極めて重大です。大学と連携を図りつつ、創立100周年を目指せる大学造りに、支援、協力してまいりたいと思っています。

今期の同窓会事業計画の重点は、支部の活性化であり、多くの同窓生の参加により、お互いに親睦を深め、交流を図っていく中で多種多様な意見を伺いたいと思っています。また、同窓生子弟の四国学院入学支援、卒業生の就職支援等協力し、「ロゴスだより」またホームページを活用し、同窓会、大学の情報を迅速に発信してまいりたいと思っています。

最後になりましたが、同窓生皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。



2008年2月23日撮影／於:学内トス館

四国学院同窓会役員

役職	氏名	卒業年度	卒業学科
会長	岩崎 啓一	1973	人文学科
副会長	牧本 豪尚	1977	社会福祉学科
	山本 宏	1977	人文学科
書記	永吉 浩樹	1986	教育学科
	森江 華子	1996	応用社会学科
会計	飛田 由香	1983	英語科
	黒石 英幹	1996	英文学科
監事	追林 照敏	1972	人文学科
	平田 晶子	1972	英文学科

四国学院同窓会支部からのお知らせ

ご報告 ●岡山県支部 2007年7月14日(土) 結成いたしました。
岡山県には約900名の同窓生がおられます。ご支援よろしくお願いたします。

支部総会開催予定のご案内

- 徳島県支部 2008年6月14日(土)
- 愛媛県支部 2008年8月9日(土)
- 香川県支部 2008年7月12日(土)
- 関東支部 2008年11月15日(土)

※開催日が近くなりましたら該当支部会員の皆様にはご案内を差し上げます。多数のご出席を心よりお待ちしております。

事務局から住所変更届のお願い

同窓生の皆様には、支部会開催のご案内、「ロゴスだより」、四国学院大学案内また企画案内等、お送りしています。“転居先不明”で郵便物が同窓会に返送されてくる悲しいことにならないように、お手数ですが、ご自身で当会までご連絡ください。同窓会ホームページからでも変更できます。

ロゴス館(同窓会館)館内のご案内

同窓会の会場やご家族との旅行の宿としてもご利用いただけます。



全景



ホール



2階 洋室(6人、10人用各1室) 一人1,200円/1泊



2階 和室(8人程度用2室) 一人1,200円/1泊



3階 個室(4室) 一室3,000円/1泊
お風呂・トイレ付(タオル・浴衣有)



3階 和室(4人用2室) 一室7,500円/1泊
お風呂・トイレ付(タオル・浴衣有)

※お問合せは四国学院同窓会事務局まで。ホームページからも申し込みができます。

同窓生からのお便り

児童福祉功勞により叙勲瑞宝双光章受章

1967年度 基督教学科卒業

四国学院同窓会徳島県支部 支部長 岩脇 紘一

昭和43年母校を卒業後、肢体不自由児施設「徳島県立ひのみね学園」に児童指導員として奉職した。児童福祉法に基づく施設であると同時に医療法に基づく病院で職種も多く、医師・看護師をはじめ医療従事者が大半を占めていた。病棟に配属された男性職員としては私が最初で数名の保育士と子ども達の生活指導面を担当した。家族のもとを離れ長期にわたる療育生活を楽しく豊かに送れるよう様々な行事を計画したり、日曜祭日には少グループで園外散歩に出かけたものです。当初指導員の業務は何ら確立されておらず、最初の2年間は子ども達の中に飛び込み暗中模索・無我夢中で過ごし努力した事を今も鮮明に記憶している。しかし最初の数年間が私の在職中の大きな糧となり、利用者、保護者、後見人、他職員の信頼と協力を得る原動力になったように思う。昭和58年新築改装され従来の肢体不自由児施設、身体障害者療護施設が開設された。平成4年重症心身障害児(者)施設が開設され県内の障害児者施設の基幹的役割をはたす事となった。

38年間の長きにわたり利用児者の療育一筋に、一人ひとりを大切に、多彩な園内外行事・進路支援等社会自立に向けての援助また重症児者の日常生活全般にわたる介助業務等にも精励出来たことは、職場の上司・先輩・同僚・後輩及び関係機関の方々のご協力ご支援の賜物だと深く感謝しています。

今回の叙勲「瑞宝双光章」は全く思ってもいなかった事で、私自身が荣誉にあずかるとは驚きの他ありませんでした。昨年5月の県庁内での伝達式、厚生労働省での祝賀会、天皇陛下下拝謁式と妻とともに参列した。

拝謁式は皇居内の国賓の接待や大きな饗宴が催される豊明殿で行われた。天井には32個のクリスタル製のシャンデリアが下げられ、壁面の織物は夕空に五彩の雲がたなびくあざやかな仕上げになっており、床面は靴が入り込む様な織物が敷き詰められその豪華さに圧倒された。翌日、妻の希望もあり妻が高校の修学旅行以来43年ぶりだという東京都内をほとバスを利用して観光し帰宅した。

誰でもが入室出来ない皇居内に入室出来た事を妻と共に生涯の誇りとし、改めて周りの人達に感謝している。



奥様と厚生労働省内祝賀会にて



修学旅行(中学部)金閣寺

包み込んでくれるような温かいお人柄の岩脇さんは、施設子ども達にとって指導者でもありお父さんの存在であったのではないかと思います。福祉関係に従事する多くの同窓生の励みでもあり、これからも後輩育成にご指導よろしくお願いたします。

同窓生インタビュー

1971年度 社会福祉学科卒業

社会福祉学部子ども福祉学科 村田 哲康 教授 (社会福祉学)



先生の研究室にて

質問

四国学院大学を卒業されて母校に赴任される迄はどのような生活をされていたか？

1970年恩師の岡田藤太郎先生がフィリピンのマニラで開催されました国際社会福祉会議に出席されたことが縁となって、1973年から1978年迄の5年間、フィリピンの大学院で学ぶ機会が与えられました。フィリピンの大衆の貧困状態は想像を絶するもので、大変ショックを受けました。大学院での厳しい学びの傍ら、時間を見つけては、マニラ首都圏のスラム地域に出掛けました。苛酷な現実の中で懸命に生きている多くの住民たちと関わる中で、人間の尊厳や社会正義などにまつわる問題点や課題について、考えさせられました。こうした体験は、その後の社会福祉の学びにとって貴重な礎となりました。

帰国後、静岡県浜松市にあります我が国社会福祉の先駆的取り組みを成している聖隷福祉事業団に就職し、6年間ベトナム難民援護施設の施設長として働く傍ら、学校法人聖隷学園に日本で初めて開設された福祉医療ヘルパー学園で非常勤講師として勤めました。ポートピープルと呼ばれたベトナムからの難民と共に歩んだ日々は、生活習慣や文化の違いから生じる様々な問題の解決に走り回る毎日でしたし、彼らのしたたかな生きざまに驚嘆させられることもしばしばでした。また一方では、我が国の難民政策の立ち遅れを痛感させられました。

その後、不思議なお導きにより金沢のミッションスクール北陸学院短期大学での6年にわたる教員生活を経て、母校四国学院大学に戻って参りました。はや19年目になりますが、光陰矢の如しを実感するこの頃です。その間に、社会福祉学科は文学部から社会学部に。それから社会福祉学部へと移行し、新たに子ども福祉学科も新設されました。新年度を迎える迄の6年間、非力ながら多くの方々の支えにより、社会学部長並びに社会福祉学部長として教学運営に携わることが出来たことを感謝致しております。

質問 学生時代の思い出は？

当時学生数は、800名にも満たない小さな大学でした。

教職員と学生が親密で、温かい交わりの中に在るといふ幸いを実感させられたものです。

特に印象深い体験としては、カウンセリング研究会に所属して良き学びを成したり、授業の一環として香川県内の幾つかの同和地区の実態調査に取り組んだり、社会福祉学科生主体で行った夏休み中の大阪水上隣保館でのワークキャンプなどが懐かしく思い出されます。

大学の規模は小さく、施設設備は決して充分ではありませんでしたが、豊かな人間関係に生まれ、充実した学びが出来たことは本当に幸いなことでした。



質問

今でこそ社会福祉の時代と言われていますが、
当時社会福祉に進まれようと思われたのはなぜですか？

小学校から教会学校に通っていて、教会生活を通しての影響が大きかったと思います。

特に高校時代の教会生活において、身体並びに知的ハンディを有する人たちや児童養護施設で生活を余儀なくされている子どもたちなどとの交わりの中で、キリスト教社会事業への関心が深められたことが直接的動機になりました。

質問

最近の四国学院大学の学生についてどのような印象をお持ちですか？

全体的にみた場合、若者らしいひたむきな情熱や覇気の無さが気にかかります。

人間的に発展途上に在る青年期は、多くの可能性を秘めていると言えます。目先の事ばかりにとらわれず、何が本当に大切なのかという視点をもって、じっくりと考えを深めていく思慮深さと、主体的に物事に取り組む積極性を身につけてほしいと思います。

質問

先生は四国学院大学の同窓生でもあり大学に携わっておられる者として、
同窓生におっしゃりたいことはありますか？

日頃は、四国学院大学のことをお覚え頂き、お支え頂いて感謝申し上げます。

皆様もご承知のように、今まさに少子化の時代にあって、大学全入時代を迎えています。

現状に鑑み、様々な改革に取り組んでいますが、実に厳しい状況におかれています。

学生確保をはじめとして今後の四国学院大学の発展のために、是非とも卒業生の皆様のなご一層のご支援を頂きたいと心からお願い申し上げます。



同窓生からのお便り

1990年度 社会福祉学科卒業

廣瀬(旧姓:長野) 征子

四国学院を卒業して、成人式を一度迎える程年月が経ってしまいました。月日が流れるのは早いものです。前出の村田先生は私が在学中に赴任されてきたように記憶しています。若々しいお姿でしたよ。

私はゼミでは、久保紘章先生に受け持って頂き、卒業論文の際には中園先生に大変お世話になったのを記憶しております。卒業後も懇意にさせていただいていました。しかし恩師のお二人とも他界され、大学のことを思い起こすと、在りし日の恩師との思い出が尽きることはありません。

在学中は社会福祉を学んでいたにもかかわらずマスコミ業界に就職するという異色のキャラクターの私でした。現在では双子の男の子の母であり、PTA活動に従事しています。今夏には善通寺市でも分科会を開催する全国大会があり、事務局で大忙しの毎日を送っています。母校の益々の発展をお祈りしております。

おもしろ先生インタビュー

四国学院大学副学長

社会学部カルチュラル・マネジメント学科 **神野 明 教授** (アフリカ文化論/メディア・リテラシー)



「これがジンバブエの川、ほろほろ鳥」とバックの壁掛けの説明後、いきなり太鼓をたたきだす先生。動画でないのが残念です。

インタビュー

大学の名物先生ということでご紹介させていただきます。

神野

スペースは余り無いでしょう?

(スペースに余裕があると知って安心して話始める先生)

質問

カルチュラル・マネジメント学科ではどのようなことをしていますか?

カルマネで最も特徴的な授業はプラクティカム(現場実践研究)でしょう。テーマを決めて計画を立てて現場に出る。体験して同時に記録して報告する。経験がインプットだと報告発表がアウトプット。まったく同じ経験してもアウトプットを意識した方がインプットはよくなる。発表することを前提に出かけて行く。そこでの体験が充実し濃くなっていくんです。

質問

具体的にどのようなことをするのですか?

グルメツアーを企画した時、食べ物を目の前にして「待て! 先に写真や」と先に撮る。食べている途中で「かじってしまったらいるのもうまそうに撮れ。」と撮らせる。記録報告することを同時にすることが面白い。食べたくなくなると思わせる報告ができれば成功です。食べることを楽しむだけでなく、また写真を撮るだけに終わらせないことが大切です。また同じ写真でも気の利いたコメントをつけることが発表の際には求められます。

グアムやオーストラリアのエコツアーもやりました。スキー、スノーボード研修もあり滑りながらビデオを回す。技量があがらないと迫力や面白い写真が撮れない。

琴平町の四国こんびら歌舞伎大芝居にも裏方としてカルマネの学生が活躍しているんですよ。学生は舞台の屋根裏に潜んで雪や花びらを降らせるタイミングを待ちます。自然光を取り入れるために窓を開けたり閉めたりする合図を待って動きます。舞台演出に参加する実習です。

「B級グルメ」屋村では、浪速代表たこ焼きチームを作りました。沢山のたこ焼き屋の現地調査をして、お祭りやビアガーデン、オープンキャンパス等で出店し技量が上がって高いレベルまでいきました。丸亀競技場で教え子が働いています。上司がイベントで“たこ焼き屋”を出したらどうかと提案があった時、胸をはって「まかしといてください。」と言ったそう。別にたこ焼き屋さんを育成したつもりではありませんが、企画から出店までの業者との交渉、段取り等、目的に向かって何をどのようにすればいいのかが自然に身についているんです。これは何事にも通じることなんです。学生時代に打ち込んだことは、社会に出た後、いつどこでなにが役に立つかわからないですから、何事も中途半端でなく思いっきりやってほしいですね。

プラクティカム入門という授業の中では「景観理解」というテーマがあって、キャンパスの内外で見かけた「いい景色」「いけない景色」「笑える景色」などを探してコメントをします。そのためには学生は、日常生活の中で偶然に出くわす珍しい光景、物にいつもアンテナを張っていないといけません。誰かに何かを伝えたい一心で毎日が緊張の連続です。1日1日を意識して生活するようになります。勿論デジカメはその時に備えて携帯してます。

学生は4年間で色々な現場で経験を積んで成長し、堂々と社会に巣立っていくのが嬉しいです。カルマネは、観光、スポーツ、イベントのマネジメントを通して体験、分析、企画、実施と自分の能力へと結びつけていくことが特徴だといえます。

学生は4年後に社会人となり客を受け入れてサービスする側になります。カルマネでの学習がすぐに何かの仕事に役に立つのかは保証の限りではありませんが、実践的なアイデアを出す能力、表現して発表することを続けていくことが、おそらく社会的なニーズにあった人材に育っていきます。

人の話が聞けて自分で提案説明できる。どんな時にも必要なことです。読書で知識を得る勉強はどこでも年代に関係なくいつでも出来ることです。多感な年齢の限られた時期に、適切に表現できる訓練をし、実際に現場に出て、問題を見つけて解決する力を養うことが大事なのです。

質問 四国学院大学の特徴は何だと思えますか？

大学の規模が小さいこともあり教職員と学生の距離が近いです。一緒にいろんなことをやっていくので自然とそうなります。学生の顔が一人ひとり見える関係がいい。

四国学院大学にはCHC(人権と文化の多様性に関する委員会)サポートがあります。特別推薦入試に障害者支援制度等があり、民族、国籍、信仰、心身の障害等、大学のベースに多様な文化があり、四国学院大学の学生はこのような環境が自然にある中に身を置きます。様々な文化に対して寛容な精神を持って社会に出て行ってほしいと思います。

カルチュラル・マネジメント学科に興味のある方におすすめ冊子とDVDを進呈します。
四国学院大学 入試課まで ☎0120-459-433



インタレスト
学生がたいへんな思いをして集めた資料は、立派な雑誌として発行される。



同窓生からのお便り

2007年度 カルチュラル・マネジメント学科卒業 小川 正晃

この学生生活4年間でお世話になったカルチュラル・マネジメント学科でよかったことは、実際に現場に実習に出ていき地域の人との関わりを肌で実感できたことです。私は、スポーツマネジメントを専攻していて、スノーボードの実習で北海道という環境がいいところで楽しく、指導をしてもらいながら、個人のレベルアップに繋げることができたことが一番よかったと思っています。

また、カルマネで楽しく過ごすポイントは、まずたくさんの友達、先輩や後輩を作ることと、いろいろな教授と関わって、話を聞いたりしていくことだと思います。

現在私は、金属製品を加工し、金型を作る仕事をしています。今はまだ研修中の身ですが、いろいろな加工技術を身につけられるように頑張っています。

早く一人前の技術者になれるよう日々精進していきたいと思っています。

2008年度 四国学院大学年間スケジュール

4月	2日(水)	入学式	10月	28日(火)～30日(木)	秋季キリスト教強調週間	
	22日(火)～24日(木)	春季キリスト教強調週間		11月	1日(土)～2日(日)	大学祭 2008サークルステージinノースAutumn
	26日(土)	遠足			6日(木)～8日(土)	推薦入学選考
5月	2日(金)	プレーデー	29日(土)	こどもひろば2008(第2回)		
	14日(水)	学生大会	12月	6日(土)	駅伝大会	
	19日(月)～23日(金)	マイノリティウィーク		8日(月)～12日(金)	人権週間	
	31日(土)	オープンキャンパス 2008サークルステージinノースSpring		17日(水)	学生大会	
7月	19日(土)	オープンキャンパス こどもひろば2008(第1回)	19日(金)	学院クリスマス		
8月	2日(土)	オープンキャンパス	1月	17日(土)・18日(日)	大学入試センター試験(四国学院大学内)	
9月	20日(土)	オープンキャンパス		31日(土)	一般入学試験(A日程)	
	26日(金)	9月卒業式	2月	13日(金)	一般入学試験(B日程)	
10月	20日(月)	学院創立記念日	3月	13日(金)	卒業式	
			14日(土)	一般入学試験(C日程)		

2009年度 四国学院大学学生募集のお知らせ

2008年	9月29日(月)～12月17日(水)	AO入試：パーソナル推薦入学選考(A日程)
	11月6日(木)～11月8日(土)	推薦入学選考
	11月6日(木)～2009年3月27日(金)	AO入試：社会人特別選抜
	11月6日(木)	大学院(A日程)・編入学(A日程)
2009年	1月5日(月)～2月10日(火) 出願期間	大学入試センター試験利用入学試験(A日程)
	1月31日(土)	一般入学試験(A日程)・大学院(B日程)・編入学(B日程)
	2月13日(金)	一般入学試験(B日程)
	2月16日(月)～3月27日(金)	AO入試：パーソナル推薦入学選考(B日程)・特別推薦制・課外活動制
	2月18日(水)～3月16日(月) 出願期間	大学入試センター試験利用入学試験(B日程)
	3月14日(土)	一般入学試験(C日程)・大学院(C日程)

□試験会場：推薦入学選考(公募制)(指定校制)……<11/7(金) 本学・11/8(土) 本学・徳島・高知・松山・岡山・神戸・広島・松江・福岡>
一般入学試験(A日程)……<1/31(土) 本学・高松・徳島・高知・松山・岡山・神戸・広島>

オープンキャンパス 2008

5/31(土)・7/19(土)・8/2(土)・9/20(土)に四国学院大学キャンパスにて開催!!

お問合せ 「四国学院大学入試課」 ☎0120-459-433 四国学院大学ホームページ <http://www.sg-u.ac.jp>

四国学院大学では、講演会・各種イベントを企画しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。お待ちしております。

編集後記

ロゴスだよりも10周年を迎えました。ご覧の皆様から、同窓会報は印刷屋さん
が作っているんじゃないの?と聞かれますが、校正はもとより企画、取材に
ついては私と事務局藤川さんによる手作り会報であります。皆様のご協力
のお陰で10年間、無事発行することが出来ました。まだまだ力不足の私達ですが、
「インタレスト」のように洗練された誌面になるよう頑張ります。



会報委員 飛田(千秋)由香
(1983年度 英語科卒業)



事務局 藤川(森)珠美
(1985年度 英文学科卒業)